

青少年育成部会では、毎年「子どもリーダー養成研修」を年間通して開催しています。今年度から、リーダー研修を経た「子どもリーダー」による赤間地区のイベント等取材する「子ども記者」が誕生しました。

今回、その中の2人の子ども記者が「子どもリーダー養成研修（宿泊研修）」にスタッフとして参加し、その模様をお伝えします。

子どもリーダー養成研修

6月23日土曜日、朝からバスで少年自然の家「玄海の家」に。まずは、玄海の家の方からの説明があり、その後、泊まる部屋に。一番に行ったことがベッド決め。みんなすごくはしゃいでいました。お昼を食べ終わった後、水着に着がえてカヌー体験の準備。注意をよく聞いて楽しそうにカヌーをこいでいました。

その後は夕食のカレーづくり。食材係は人気でした。材料を切るときは、「はいっ、切りたい」という子が多かったです。少し心配しながらつくったけど、大成功でした。片付けは、ナベのすす落としが人気でした。

そして「ヤダー」という子が多かった「きもだめし」。順番を待っている間、何度も驚かせられたりしました。結局、7人中3人ぐらい泣いたそうです。私たちは気をまぎらわせるため、すごくハイテンションで行ったので、少しこわかったです。（少しでよかったです。）

そして、寝るときには、話をしている子が少しいて、少し「めいわくかな？」と思ったけれど、注意すれば素直にきいてくれたので、よかったです。

はじめはぎこちなかった仲だったけど、だんだん仲良く楽しく過ごせたとおもうので、楽しかったです。（長かった。）<http://wawawa.org/album/2012/0623/index.html>

以上「の一」記者でした。

翌24日は、朝食を食べたあと、部屋の整理整頓をして、退所点検を受けました。部屋の整頓の時、みんな、自分の寝たベッドの整頓はしていましたが、それが終わってからは、そうじをしている子もいたけど、まくら投げをして遊んでいる子もいました。でも、退所点検は合格できたので、よかったです。

次に、ドッジボール大会の計画をたてました。まず、班で話し合いました。意見がまとまったら、ホワイトボードに書いて、6年生のリーダーが話し合いを進めていきました。多数決をとったりして、ルールやチームなどを決めました。計画を立て終わってから、ドッジボール大会をしました。最初は楽しくできていましたが、「男子は4年生の女子にきき手じゃない方の手で投げる」というルールがあったけど、両ききの人っていて、早いボールで当てられ、泣いてしまった子がいたり、引き分けになったらどうするか決めていなかったりしたので、遅れてしまい決勝戦ができませんでした。だから、もう少しルールをしっかり考えておくべきだったと思います。

このキャンプで、初めは全然知らなかった人とも、色々な活動で協力して、最後にはみんな仲良くなっていたのでよかったですと思います。<http://wawawa.org/album/2012/0624/index.html>

以上「名湖」記者でした。